

J R 四国労組ニュース

平成31年1月23日(No13/1)

発行責任者/中濱 斉

編集責任者/森安 祐貴

「宇多津駅構内における高架橋からの落下物」について (申し入れに対する会社回答)

昨年12月18日に予讃線宇多津駅構内第三新開高架橋及び第四新開高架橋よりコンクリート片並びに目地材が落下した事象に対して、本部は発第46号「予讃線『宇多津駅構内における高架橋からの落下物』について」申し入れを行ったが、会社より以下のとおり回答があった。

【発第46号 予讃線「宇多津駅構内における高架橋からの落下物」について】

1 今回の事故をどのように受け止めているのか会社の考え方を明らかにされたい。

(会社回答)

今回の第三新開高架橋におけるコンクリート片の落下、第四新開高架橋における目地材の落下では、一般の方の怪我、列車運行への影響はありませんでしたが、一步間違えば、一般公衆に対する重大な事故に繋がる事象であると重く受け止めています。

過去にも、落下事象を発生させており、検査時にコンクリートのはく落の恐れがある箇所だけでなく、落下の恐れがある部材等を見落とすことがないように、さらなる検査精度の向上に取り組むことが重要であると考えています。

2 コンクリート片、及び目地材が落下した原因を明らかにされたい。

(会社回答)

コンクリート片の落下については、経年劣化によりコンクリート内部の鉄筋が腐食して膨張したことによりコンクリートを押し出したため、コンクリートのはく落した可能性が高いと考えています。

また、目地材の落下については、経年劣化により目地材とコンクリート部材との付着が切れることにより目地材が落下した可能性が高いと考えています。

J R 四国労組ニュース

平成31年1月23日(No13/2終)

発行責任者/中濱 斉

編集責任者/森安 祐貴

- 3 過去の事故を受けて、これまでどのように再発防止に取り組んできたのか明らかにするとともに、再度同種の事故が発生したことを重く受け止め、再発防止に向けた今後の対策について明らかにされたい。

(会社回答)

コンクリートのはく落事象に対しては、第三者への危害防止の観点からはく落防止ネット等の落下対策を実施しています。また、全般検査の検査精度向上に取り組むとともに、輸送繁忙期前には第三者への危害の恐れのある高架橋、架道橋等については重点的に点検を実施しているところであります。

今回の事象を受け宇多津高架橋全線、同時期に建設された本四備讃線高架橋及び丸亀高架について、コンクリート片及び目地材等の落下に着目し、必要により高所作業車等を用いた緊急点検を実施しています。また、点検の結果、落下の恐れがある箇所については無対策箇所から優先的に落下防止対策を実施します。

今後も検査を行った時は、その結果を確実に記録し検査精度の向上に向けて継続して取り組んでまいります。

J R 四国労組は、安全の確立がすべてに優先し、尊い命を預かる私たちの重大な使命であることを再度訴えるとともに、引き続き、会社に対する「安全管理へのチェック機能」を強化する運動を展開する。

以上